

手外科シリーズ

15. 母指CM関節症



監修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会



制作
エーザイ株式会社

15

ほ し シー エム かん せつ しょう

母指CM関節症

(CM関節：指のつけねの関節)

● 症状 ●

物をつまむ時や瓶のふたを開ける時など、母指に力を必要とする動作で痛みが出ます。進行すると母指が開きにくくなり、CM関節の変形は外見からもわかるようになります。



● 原因・病態 ●

母指CM関節はよく動く関節なので、使い過ぎや加齢に伴って発症したり、この部の脱臼や骨折後にも起こることがあります。関節軟骨がすりへり、進行すると関節は亜脱臼してきます。



使いすぎ
加齢
脱臼・骨折



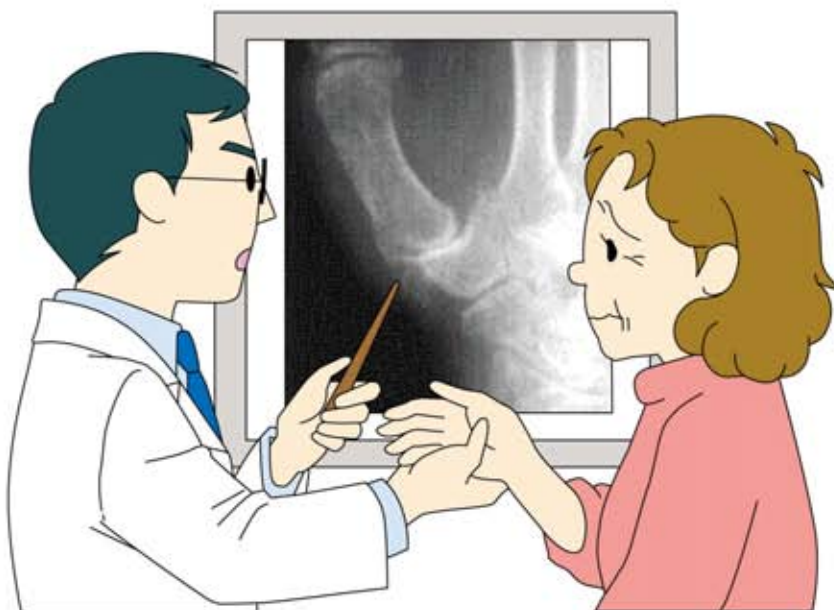
関節軟骨の摩耗



亜脱臼

● 診断 ●

母指のつけねを押さえると痛みが生じ、運動時痛があります。レントゲン検査で関節の変形があれば診断がつきます。



● 治療 ●

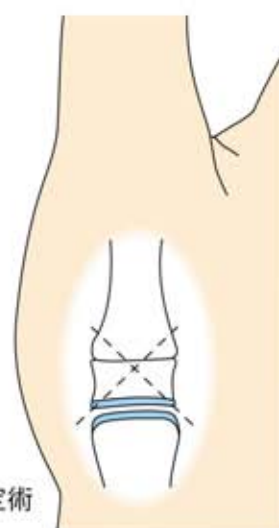
保存治療（投薬、固定装具、温熱療法、関節内注射など）が有効です。保存治療でよくなる場合は、手術治療（関節固定術、関節形成術）を行うこともあります。



関節形成術



固定装具



関節固定術